

広報



No.143

昭和60年 5月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

献血まつりで 247人が献血.....	2
カメラルポ（内谷春日神社で例大祭）...	3
佐久間岩吉さんに総務庁長官感謝状.....	4
ふるさとの文化財.....	5
おしらせ.....	6～7
公民館だより.....	8～9
わ だ い.....	10



'85

5月

“ナルコユリ、”

淡緑色で風鈴状の小花を咲かせるナルコユリは、古くから薬用として親しまれています。（石母田で）



▲もちまきのサービスに喜ぶ地区のみなさん

カマラポ

内谷春日神社で例大祭

内谷太々神楽
 十一年ぶりにみこしも

三月十五日に、町の無形民俗文化財に指定された春日神社の太々神楽は、復活以来、今年で四年目を迎え、四月二十日午後二時から神楽殿で奉納されました。今年には、全二十八座のうち十座を奉納しました。また、楽人に中学生も初めて加わり、小、中学生も舞を披露しました。

翌二十一日は、午前十時から、十一年ぶりのみこしと六年ぶりの山車が内谷地区を一日中練り歩きました。また、同日、泉田地区でも祭礼があり、こちらも、三年ぶりにみこしと山車が地区内を練り歩きました。



▲中学生の楽人も初めて演奏



▲天の岩戸開き前に舞う天手力男命
あまのいわらひのひらめこと



▲11年ぶりのみこし



▲6年ぶりの山車

後任の行政相談委員 内池和子さんに 委嘱



▲内池和子さん

総務庁では、国見町を担当す

秘密は守りますので、お気軽
にご相談ください。

佐久間岩吉さんに 総務庁長官感謝状



▲感謝状を手にした佐久間岩吉さん

総務庁から行政相談委員の委
嘱を受けていた佐久間岩吉さん
(藤田字北三八の一 八十歳)
が、このほど勇退されました。

佐久間さんは、昭和三十九年
から行政相談委員として、国
県、市町村などの行政機関、公
社、公団などに対する皆さんの
苦情、要望、問い合わせなどを
関係機関に連絡するなどして解
決をはかってきました。
総務庁では、二十一年間の長
きにわたる行政相談委員として
尽力された功績に対し、感謝状
を贈りその榮譽をたたえました。
四月十八日、役場で伝達式が
行われ、菊地町長から佐久間さ
んに感謝状が手渡されました。
なお、後任の行政相談委員に
は内池和子さんが選任されまし
たので、佐久間さん同様、よろ
しく願います。

る行政相談委員として、内池和
子さん(山崎字沢田十の九 五
十三歳)を委嘱いたしました。
行政相談委員は、総務庁長官
が委嘱するもので、国の仕事を
はじめ、国鉄、電々株式会社な
どの仕事、県や市町村が国から
委任されたり、補助金を受けて
行っている仕事についての苦情
や要望・意見を受け付け、皆さ
んと役場などとの間に立ってそ
の解決を促進するよう相談に応
じます。

身近にある野草薬草

⑪

タンポポ



だれでも知っているおなじ
みのタンポポですが、在来種^①、外
来種^②があります。在来種は、
黄色の頭状花の外側にある綿^③
片の先が、上を向いています。
花が終わると、冠毛^④を持った
果実^⑤ができて、冠毛によって、遠
くまで運ばれます。

▼薬用▲
開花寸前に根を掘り上げ、洗
い、刻んで干干しにします。一
健胃・胃痛・消化促進に。一日
量として乾燥した根五〜十グ
ラムを水二百ccで煎じて服用し
ます。

▼食用▲
葉は小刀で根ぎわから切り、
ります。花は株を残してとり
ます。

根はシャベルで掘り出し、
よく土を落とします。
料理 薬はよくゆでて、水にさ
らしてアクを抜き、おひたし、
白あえ、からしあえ、ごまあえ、
酢みそあえ、油いため、汁の実
に。

花は酢少々を入れた熱湯でゆ
で三杯酔に。
根は縦長の細切りにして水に
さらし、油でいためてからしよ
うゆ、砂糖で味つけします。
・タンポポの白あえ

①薬を強一つまみ入れた熱湯で
長めにゆで、水にさらしてアク
抜きをします。②いりごまをす
り鉢でよくすり、水けをきった
とうふを加え、さらによくすり、
砂糖、塩、酒で好みに調味し、
あえ衣を作ります。③②で①を
あえてでき上がり。

(山野草カラー百科から)

ふるさとの文化財

⑭

町指定史跡 石母田城跡

菊池利雄

石母田の字館ノ内、横町、荒町に位置する石母田城は、本郭、二ノ郭・三ノ郭からなる複郭式の平城である。

本郭は、東西一〇〇㍎・南北一二〇㍎の略四辺形状をなし、周囲には堅固な土塙(高さ四三㍎)と、内堀・丸堀・外堀(上堀・中堀)と呼ばれる水濠(深さ三三㍎)がめぐらされ、西南の隅は櫓場跡との伝えがある。(村史編纂)

外郭である二ノ郭は本郭の南に、三ノ郭は二ノ郭の南から本郭東部にかけての地域で、土塙と外堀がめぐらされており、館前・横町・町端の旧地名の存在からみて、家中屋敷であり家臣団を郭内の町屋敷に集中させると、「総構」とも称すべき縄張である。

外郭から本郭へ通じる二ヶ所の虎口は、濠の中に小規模な馬出し郭を構え、土橋、掛橋によって結ばれていた。外郭から城外に通じる的場、出溜、荒町の虎口は、通路となる土橋を挟んで、外堀は堀一本の幅で隅違状に交差し、内枳形を構えた壁園なものであり、本郭を含めた全城の規模は東西二一〇㍎・南北二五〇㍎・総面積六町二反と広大なものであった。

城主の石母田氏は、家譜によれば甲斐源氏の出自。伊達氏譜代の家臣で石母田光頼以前は不詳とされる。天文十一年(一五三二)六月伊達晴宗は、桑折西山城に父伊達種宗を幽閉したが、まもなく救出されて石母田城に移った。種宗は翌十二年五月、娘婿懸田俊宗の懸田城に移ったが、十三年八月、再び石母田城に移り、種宗党の本拠となったため、晴宗党の総攻撃を受け、十月二十日に落城した。

永祿七年(一五六四)六月、田手(伊達崎)宗光と晴宗の息伊達輝宗との対立を調停するため、米沢城から石母田城に向いた晴宗は、輝宗の攻撃を受けた事件が起こっている。(伊達氏系図)

天正十八年(一五九〇)十月伊達政宗が石母田景頼に宛てた書状の中に、「城の儀は定めて破却となすべき候条」とあり、石母田城は廃され、景頼は伊具郡高倉の荒山城に移った。(桑折)

昭和六十年三月、この地方における典型的な中世の城館跡として、石母田城跡(内堀と丸堀)を町の史跡に指定した。

参考文献 国見町史・二四巻 石母田村地籍図、伊達世臣家譜



石母田城要図(石母田村地籍図によって作成)

国見町職員組織表

(前月号からのつづき)

校(園)名	校(園)長	教頭	係(教諭)
県北中 82-2372	幕田貞一	遠藤幸吉	中野成子、和泉喜久夫、松浦利枝
藤田小 85-2041	穴戸成男	安斎光雄	高子宏子、穴戸ヤイ
森江野小 85-2811	大和金三郎	石幡清朗	安藤幸江
大木戸小 85-2144	佐久間宗平	松本正詞	佐竹朝子
小坂小 85-2810	湯浅伊佐男	伊勢文朗	中山ミエ子
藤田幼 85-2334	穴戸成男	安斎光雄	田中陽子、斎藤アイ子、紺野かず子、倉田由美子、古内君恵、高橋フミ
森江野幼 85-4784	大和金三郎	石幡清朗	佐藤幸子、吉田和子

戸籍の窓口

(4月受付分)

出生おめでとうございませす

久美子	子(の)	名(保)	者(者)	北(落)
繪太郎	理(え)	名(武)	信(秀)	中(北)
健太郎	一(けん)	名(若)	幸(林)	南(中)
敬一	里(けい)	名(平)	浩(信)	田(南)
千佳	子(ち)	名(佐)	利(光)	大(南)
	か)	名(木)	夫(夫)	町(谷)
		名(木)	勇(勇)	東(谷)

ご結婚おめでとうございませす

氏名	明子	子司	男子	光子	二重	好子	一子	蔵春
氏名	正恵	人信	勇悦	直恵	直良	喜久	裕明	政千
氏名	瀬田	藤原	沢本	野齋	藤藤	井林	卷地	本一
氏名	瀨池	安嶋	桜松	佐安	遠後	坪小	八菊	坂

おくやみ申し上げませす

氏名	治一	一子	敏郎	シ
氏名	英二	勇	ヤ	シ
氏名	藤野	田浦	藤	ヨ
氏名	佐紺	嶋	松	八

●長い雨 降り始めてから百ミリを超えるような時

●強い雨 一時間に二十ミリを

注意をしたい気象条件

命を守るためには勇氣ある避難が大切な土砂災害対策の一つであることを教えてくださいませす。

あなたの住んでいるところは安全ですか？

おそろしい。土砂災害が起きそうな危険な状況に接したら勇氣を持って避難しましょう。

長崎災害をはじめ全国各地の災害実例から、危険時に自分の命を守るためには勇氣ある避難が大切な土砂災害対策の一つであることを教えてくださいませす。

土砂災害から 明るい家庭を守るため 土砂災害 防止月間

六月一日～二十日

超えるような時

●地震 強い地震の時や、地震後の雨は、特に注意しましょう。

特に危険なげけの条件

- 傾斜 三十度以上
- 高さ 五メートル以上
- 斜面の異常
- 斜めがけ崩れ災害は、いつ起きるかわかりませせん。
- 日頃の用心・早目に避難



未登録の銃砲・刀剣類は登録を受けてください

○未登録の銃砲・刀剣類を発見したときは、もよりの警察署に発見届を提出してください。

※なお、詳しくは県教育庁文化課(二一—一一)または各教育事務所におたずねください。

○発見届がすむと、県教育委員会(文化課)から届出者に刀剣登録審査会開催の通知が来りますから、当日登録申請書を提出してください。

○登録審査会には

ア発見された銃砲・刀剣類

イ発見届(警察から渡されたもの)

ウ印鑑

エ登録手数料(県収入証紙) 一件につき四千五百円

(当日会場で取扱っています) を持参してください。登録は、発見届が行うことになっていませすので、代理人に依頼するときは正当な理由を付した委任状が必要でせす。

昭和六十年 度 ミスビーチを募集

- 一、応募資格
- 身長百五十七cm以上、年齢十八～二十二歳までの独身女性(高校生は除く)
- 県内在住、在学者または県内出身者
- 七月下旬から八月下旬までの間、PR事業に従事できる福島市内に通勤可能な人
- 二、募集人員 十名
- 三、選考期日 六月三十日午後二時
- 四、選考会場 福島市市民会館
- 五、募集期限 六月二十五日
- 六、応募・問い合わせ先 福島市役所内「ミスビーチ係」(五三五一一一一)

人口と世帯

5月1日現在(前月比)4月中のうごき

男	5,818人	(-11)	転入	32人
女	6,153人	(+3)	転出	39人
計	11,971人	(-8)	出生	6人
世帯数	2,871戸	(+1)	死亡	7人

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)

時間: 9時~12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

5月25日(土) 佐野 市郎・阿部 キク

6月5日(水) 高橋 隆雄・玉手マルヨ

6月15日(土) 吉川 弥吉・橋 ヤヨイ

5月 阜月(さつき)	6月 水無月(みなづき)
18日(土) 国際善意デー	1日(土) 気象記念日・写真の日
19日(日) 森江野小運動会	4日(火) 歯の衛生週間
21日(火) 小 満	6日(木) 芒 種
26日(日) 藤田小運動会	7日(金) 計量記念日
30日(木) 消費者の日	10日(月) 時の記念日



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

昭和六十年 各学級が開講

高齢者教室

好天に恵まれた四月二十六日(金) 公民館講堂で、町長、桑折警察署長、交通安全協会桑折支部長、住民課長、生活環境係長出席のもと、学級生百二十名が出席して、昭和六十年度の開講式(交通安全大学証交付式も併せて)が行われました。開講式の記念講演として公立



▲開講式に集まった教室生のみなさん

藤田総合病院院長の本宿先生から「生涯学習のための健康保持管理」というテーマで、たいへん有意義なお話しがありました。昭和六十年学級運営委員会として次の方々役員になりました。

- 委員長 藤田 勝衛
- 副委員長 吉田 嘉藏
- 会 計 佐久間いち
- 庶 務 阿部 重雄
- 菅野 シマ
- 遠藤源五郎

六月の学習予定
奉仕作業 古民家周辺
学習 「若い世代の理解」

青年学級

四月二十五日、午後七時半から、町公民館で学級生二十八名が出席して開講式を行いました。教育次長、館長のあいさつのと、学習計画などの説明がありました。

式終了後、自己紹介やゲームを行いながら楽しく第一日目の活動を終わりました。

学級生を

再募集

◆中央婦人学級

婦人の役割を考え、婦人教養の向上と明るく豊かな家庭づくりをめざして……

定 員 四〇名
期 間 六月～二月
学 習 日 毎週水曜日
9:30～11:30

対 象 町内に在住する婦人
※申し込みは、公民館へお早め
に(電話も可)

◆成人学級

社会に柔軟に対応できる知識や教養を習得し、明るく豊かな町づくりに貢献しましょう……

定 員 四〇名
期 間 六月～二月
学 習 日 毎週水曜日
13:30～15:30

対 象 町内に居住する
壮年男女
学 習 内 容 一般教養、地方自治、健康管理、研修旅行など

※申し込みは、公民館まで

文化団体紹介

国見フラウエン

代表 梁瀬貞子

人生到る所歌あり、私共は生まれた時の子守歌から始まって、嬉しいにつけ悲しいにつけ、歌は心の糧、友だちです。

この秋には福島市で県大会と県北大会の二つの大きな発表会があります。それに出演するため今新しい曲の練習を始めました。四月から若いお嬢さん二人が入会しても心強く思っております。欲を言えばもう十人位会員が欲しいのです。

どうしようかと迷ってないでお電話くださるか、練習日に見学においでください。

練習日は毎月第二、四、の日
曜午前十時から十二時まで、
三月曜日夜七時半から二時間、
場所は福祉センターです。

春にはバスで小旅行などもしております。今年には六月に山寺へ行く予定です。時々テレビ局からも出演依頼などあり、昨年は郡山のKTVへ小さい子供たちも一緒に出て歌って来ました。



指導して下さる先生は当初より同じ板垣先生、そしてピアノは菅野利津子さんです。一人でも多くの方の入会をお待ちしております。

テニスコートオープン記念 硬式テニス教室開講の お知らせ

二日時 五月十九日(日)～六月
二十三日(日)毎週日曜日
二場所 国見町運動公園テニス
コート

三、対象者 一般社会人(学生、生徒は除く)
四、講師 全日本テニス協会公認
指導員、関根榮喜先生
他

五、会費 一人五〇〇円



緑風園で 観月台公園を清掃

桜の花ほころぶ観月台公園で、四月十七日、緑風園の入園者の人たち、寮母さんなど四十名が、公園の周辺などを清掃してくださいました。

緑風園では公共施設の清掃作業を毎年行っているもので、この日は、午前十時から十一時半まで、ゴミ袋や竹ぼうきを持っ



▲公園を清掃する緑風園のみなさん

たおじいさん、おばあさんが、アキカンやゴミなどを拾い集めました。

石母田石を供養 (夜泣き石)

石母田の「館ノ家」とよばれる佐藤トミさんの屋敷地内に石母田石があります。

四月十九日、佐藤さん方では、近所の人たちを招き、石母田石の供養を行いました。

郷土史研究家の菊池利雄さんの話によると、「天正十九年に石母田景頼が、伊達政宗の大崎移転に従って石母田城を去る際、櫓場にあったこの石を持ち去ったといわれ、現在の石は、その代石のようです」と話していま



▲石母田石を供養するみなさん

した。

また、石母田正統家譜考證類聚によれば、「コノ石転倒ノ時ハ、村中ニ変事ノアリトテ崇敬恐懼ノ由申伝フ」といわれ、佐藤さんの家では、毎年四月に供養を行っています。

県立博物館で 展示品物を 引き取り

県立博物館から製作を依頼されてきた戦時中の婦人の標準服や農作業の褌袴、わらじや蓑、蓑などが出来上がり、五月二日、県教育庁文化施設整備室の大内寛隆専門文化主査らが国見町を訪れ、石母田西の菊池よしさん宅などから作品を収集しま



▲縫いあがった標準服を贈った菊池さんたち

出来上がった作品は、斎藤邦一さんがタンガラ四個、やせ馬六個、ササみの四枚、ヤジロベ一十個、天稗袴六本、ワラジ十足、雪グツ四足、菊池昌二さんがネコみの六枚、米俵六俵、菊池よしさん、穴戸きよさんが標準着上下四着、巡礼衣裳三着、山褌袴男女二着ずつで、大内さんらは、大切に引き取って行きました。

農業祭 今年もにぎわう

五月晴れに恵まれた五月五日、観月台公園で恒例の農業祭が開かれ、町内外から訪れた買い物客でにぎわいました。

当日は、カゴやザル、ネギやナスなどの種苗、青果物や海産物などの露店が並び、それを買うため親子連れなどで、終日にぎわいました。

また、町民体育館では、恒例となった「趣味の合同作品展」が開催され、こちらも、買い物帰りの人々などでにぎわいました。

翌六日は、早朝五時から、公園管理委員会、ライオンズクラブ、商工会婦人部の人たち五十人が、農業祭でのゴミなどの清掃作業をしてくださいました。



▲今年もにぎわった農業祭



▲集めたゴミを燃やすライオンズクラブや公園管理委員会のみなさん

編集日記

○野に山に新緑が映え、すがすがしい季節となりました。今年が晴天が続き、わらび、たらの芽、うどなどの山菜も、例年並みで、私も出かけてみました。さわやかな風がわたって、とても気持ち良かったです。

○みなさんも、ぜひ出かけてみてはいかがですか。森林浴を楽しみながら山菜を探る、健康のためにも、まさに一石二鳥ではありませんか。